

第9回豊能町地域公共交通会議分科会議事概要

日 時：平成26年1月23日（月）午後2時15分から午後3時54分まで

場 所：吉川支所 2F 会議室

出席者：委員6名及び随行1名 オブザーバー3名 事務局3名

（詳細は資料「豊能町地域公共交通会議分科会名簿」のとおり）

《1》議事進行概要（事務局説明の詳細は各資料参照）

午後2時15分開会

- ・ 各委員の自己紹介及び内田委員長より開会のあいさつがあった

【1】交通計画案について

事務局より「豊能町地域公共交通基本構想」について説明があった

委員及びオブザーバーで意見交換を行った

なお、意見を言いやすい場とするため、オブザーバーによる個別の意見は非公開とすることとした

⇒本日の意見を参考に案の表現を一部修正し、パブリックコメントを行ったうえで地域公共交通会議に提出することとした

【2】その他

（1）地域公共交通会議への能勢電鉄の参画について

基本構想は、地域の交通全体について記載し、「能勢電鉄の阪急梅田への直行便にかかる実現可否について検討、判断」としていることから、次回地域公共交通会議より鉄道事業者（能勢電鉄）に参画を依頼することとした

⇒了

(2) 社会実験運行利用料金の消費増税対応について

4月からの消費増税により、阪急バス等は運賃改定が予定されているが、東西バス及び東地区デマンドタクシーについては据え置くこととする。

⇒了

※東西バス運賃は協議会運賃となっており、手続き等は不要

【5】午後3時54分閉会

《2》主な質疑、意見

○地域における需要について

- ・学区制の廃止により、茨木高校などへの通学が多くなっている
- ・西地区は鉄道が中心。バスよりも時間が読みやすく、連絡がよい
- ・鉄道駅へのアクセスが大切だが、自動車の送り迎えが非常に多い状況

○能勢電鉄の阪急梅田直通便について

- ・能勢電鉄だけでなく、阪急電鉄とのかねあいがある
- ・技術的な問題もあり、実現可能性の検討、判断が必要

○箕面森町線の延伸について

・北大阪急行が延伸し、箕面森町線が延伸すれば使い勝手はよくなる。ただし西地区は鉄道が中心でバスの生活に慣れていないので、定着するのか疑問

・箕面森町線は、鉄道を使うよりも本当に便利な人が利用。地域でいえば、東ときわ台の上(8,9丁目など)となる

・北大阪急行の延伸は既存バス路線への影響がある。延伸後のバス運行は合理化を考慮する必要があるため、北大阪急行の延伸によるバス路線再編＝豊能町域の利便性向上とは言えない

○北大阪ネオポリス線について

- ・現在も北大阪ネオポリス線を使わず、東能勢線と箕面森町線を乗り継いでいる人がある。早期に実現してほしい

○西地区の駅シャトル便について

- ・現行の豊能西線は町からの補助金がある。シャトル便の経費が豊能西線と異なってくるので、改めて話し合いが必要

○東地区デマンドタクシーについて

- ・おとしよりは時刻などを自分でしらべることができない。公共交通があることすら知らない人もいるのでは。かんたんで、おぼえやすいものにすればよいと思う
- ・地域住民との協働事業でバスマップなどを作成するような場合は、国の補助もある

○リレー便について

- ・想定運賃については、この運賃となるという誤解を招かないか(→距離より算出した想定。表現はこのままとする)
- ・便数については箕面病院との調整により変わる可能性があるが、最終的な調整は事務局に一任